

コーポレートカード利用者は ETC2.0への切り替えを

利用月額	割引額	割引率
5,000円	0円	0.00%
10,000円	1,000円	10.00%
15,000円	2,500円	16.67%
20,000円	4,000円	20.00%
25,000円	5,500円	22.00%
30,000円	7,000円	23.33%
40,000円	11,000円	27.50%
50,000円	15,000円	30.00%
100,000円	35,000円	35.00%
150,000円	55,000円	36.67%
200,000円	75,000円	37.50%
300,000円	115,000円	38.33%

高速道路を利用する組合員が増えていきます。組合では負担軽減のため割引率の高い「コーポレートカード」の紹介に取り組んでいます。

しかし今年一月から、上表に記載されている割引の適用はETC2.0装着車に限定されました。

国が渋滞、危険回避情報などを提供できる2.0の普及を進めているためです。ところが、コーポレートカード使用組合員のなかでも、まだ従来機を使用して

ETC2.0装着車
1台当たり的高速料金額/月

5,000円～10,000円まで	約20%割引
10,000円～30,000円まで	約30%割引
30,000円を超える部分	約40%割引

「今年も一年ガンバロー」新年会で親睦深める



1/14支部執行委員会新年会兼今成さん送別会を佐野市内で開催。各人新春の決意は・・・



1/8東成資材分会新年会。過半数が元気な「準高齢者」。今年も健康と事故に気をつけて頑張ろう。

白ナンバー排除許すな

国交省下請指導ガイドラインで現場混乱

一人親方なら社会保険未加入問題なし

県内の一部公共工事の現場で、就労していた組合員が排除される問題が発生しています。一部業者が現場に現れ「白ナンバーは違法」「社会保険、雇用保険に入っていない」と工事関係者に「告発」、トラブルを嫌悪した業者が組合員を排除したようです。

各地でこのような問題が起こっています。国土交通省は「下請指導ガイドライン」で今年四月以降「適正な保険」に加入していない労働者は現場に入場させないとしています。このガイドラインを悪用して「白ナンバーダンブ」「一人親方ダンブ」の排除を一部業者が進めています。

この問題では昨年十二月九日、国会で日本共産党の清水忠史議員が国交省に確認しています。

「一人親方は社会保険、雇用保険に加入できない。国保、国民年金に加入していれば就労することは問題ない」これが国交省の見解です。

しかし、現場業者は「一人親方は社会保険、雇用保険に加入できない。国保、国民年金に加入していれば就労することは問題ない」これが国交省の見解です。

「一人親方は社会保険、雇用保険に加入できない。国保、国民年金に加入していれば就労することは問題ない」これが国交省の見解です。

高齢者の事故増加 組合員の重点課題に



昨年11月10日、下野市自治医大駐車場で84歳の男性が運転する車が暴走。3人が死傷。

高齢者の交通事故が社会問題になっていっています。年齢が増えています。年齢が増えています。年齢が増えています。

【当面の主な日程】

- 二月一日～三月十三日「確定申告相談会」
- 一月二十八日～三十日「中央委員会・ダンブ部会総会」
- 一月四日～五日「栃木県本部旗びらき執行委員会」
- 二月九日～十日「関東地方協議会」
- 二月十四日「関東ダンブ幹事会」
- 二月十五日「NIPPON生六分会相談会」
- 二月二十五日「栃木県労連評議員会」

今年の健康診断会は三月二十六日(日)を予定。詳細は次号で。